

室蘭製造所における輸入ナフサ船初入港について

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、室蘭製造所(所長:三ツ井 克則)において、現在、石化工場化に向けた工事を進めておりますが、6月末の運転開始に向け、本日、原料となる輸入ナフサ船の第1船が入港いたしましたので、お知らせいたします。

室蘭製造所は、本年3月末に原油処理(日量18万バレル)を停止いたしましたが、4月から6月末まで、石化工場化に向けた改造工事を実施しております。

工事完了後は、パラキシレンの原料となるアロマ基材等の製造・輸出を行うとともに、引き続き、灯油をはじめとする石油製品の物流拠点として、北海道地区への安定的な製品供給に努めてまいります。

<入港船の概要>

- (1)船名 : SCF ALPINE(エスシーエフ アルパイン)
- (2)総トン数 : 74,602トン
- (3)船籍 : LIBERIA(リベリア)
- (4)積載量 : 48,375KL

<入港の様子>



以上